

## 第1回湖南省自殺対策計画策定委員会 会議録

■日時 平成30年(2018年)8月27日(月曜日) 午後2時から午後3時50分まで

■場所 湖南省保健センター 2階多目的室

■出席者 委員(17名)、事務局(6名)

### ■会議次第

1. 開会
2. 湖南省自殺対策計画策定委員会運営規則について
3. 委員の委嘱と自己紹介
4. 委員長・副委員長の選出
5. 委員長・副委員長あいさつ
6. 議事
  - (1) 湖南省自殺対策計画策定スケジュール(案)について
  - (2) 湖南省自殺対策計画の構成案について
  - (3) 湖南省自殺対策についての現状等について
  - (4) 湖南省関係課の棚卸事業について
7. その他

### 1. 開会

事務局	<p>本日はお忙しいなかご出席いただきありがとうございます。第1回湖南省自殺対策計画策定委員会を始めます。はじめに湖南省市民憲章の唱和をお願いいたします。</p> <p>－ 市民憲章の唱和 －</p> <p>引き続き、市歌を1番のみご斉唱いただきます。</p> <p>－ 市歌斉唱 －</p> <p>ありがとうございました。開会にあたりまして湖南省健康福祉部長よりごあいさつ申し上げます。</p>
部長	<p>台風20号が過ぎ去った後、週末から再び猛暑の日が続いております。本日も大変お暑い中自殺対策計画策定委員会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。また策定委員会の委員就任につきましてもご快諾をいただき重ねてお礼を申し上げます。平素は本市の健康政策に格別のご理解とご協力を賜っておりますことを感謝申し上げます。さて、我が国の自殺者は平成10年以降3万人を超える状況が続き、平成22年から減少傾向となり、平成28年には22年ぶりに2万2千人を下まわっております。この間、国が平成18年に自殺対策基本法を、平成19年には自殺総合対策大綱を制定いたしましたことにより、それまで個人の問題とされてきた自殺が、社会の問題として広く認識され始めてまいりました。その後さらに自殺対策を総合的、かつ効果的に推進するために国は、平成28年に自殺対策基本法を、平成29年に自殺総合対策大綱を改定しました。誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現を目指し、そのために平成30年度までにすべての都道府県と市町村が自殺対策計画を策定することとされました。これを受けまして、本市におきましても、本市を取りまく現状と課題、自殺対策推進における地域特性などを分析いたしまして、市民の誰もが自殺に追い込まれず、健康でいきいきと暮らせるま</p>

ちを目指し、自殺対策計画を策定してまいりたいと思います。自殺の背景には精神保健上の問題だけではなく、様々な社会的要因があり、その多くは防ぐことのできる社会的な問題であるといわれております。委員の皆様におかれましては、それぞれのお立場から生きることの阻害要因を減らし、生きることの促進要因を増やすことにつながるような計画の内容となりますよう、忌憚のないご意見をいただきますようお願いをいたしまして、開会のごあいさつとさせていただきます。

事務局 資料の確認をさせていただきます。  
 ー 資料確認 ー

## 2. 湖南省自殺対策計画策定委員会運営規則について

事務局 運営規則の説明 資料 1

## 3. 委員の委嘱と自己紹介

事務局 代表の委員に委嘱状をお渡しいたします。  
 ー 委嘱状交付 ー  
 自己紹介は名簿順にお願いいたします。 資料 2  
 事務局として、精神保健福祉センター（自殺対策推進センター）より出席いただいております。  
 運営規則第 5 条により、委員 17 名中、17 名全員出席、半数以上の出席をいただいておりますので、本委員会が成立していることを報告させていただきます。

## 4. 委員長・副委員長の選出

事務局 運営規則第 4 条により委員長、副委員長の選出は互選により選出ですが、どのようにはらせていただきますでしょうか。

委員 ー 事務局一任 ー

事務局 事務局一任の声をいただきましたので、事務局案として、委員長を安西委員、副委員長を本谷委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員 (異議なし) 拍手

事務局 それでは委員長を安西委員、副委員長を本谷委員にお願いいたします。

## 5. 委員長・副委員長あいさつ

事務局 安西委員長からごあいさつをよろしくお願いたします。

委員長 どうぞよろしくお願いたします。

事務局 本谷副委員長からごあいさつをよろしくお願いたします。

副委員長 日頃から皆様にはお世話になっております。今回副委員長ということで依頼を受けました。どうぞよろしくお願いたします。

事務局 ありがとうございます。どうぞよろしくお願いたします。  
 それでは、議事の進行につきましては運営規則第 5 条に基づき、委員長にお願いいたします。

## 6. 議事

(1) 湖南省自殺対策計画策定スケジュール（案）について

(2) 湖南省自殺対策計画の構成案について

委員長 事務局より(1)の説明をお願いします。

事務局	－ (1) 湖南省自殺対策計画策定スケジュール（案）について説明 － 資料 3
委員長	続いて事務局より説明をお願いします。
事務局	－ (2) 湖南省自殺対策計画の構成案について説明 － 資料 4
委員長	事務局の説明(1)(2)について質疑はありませんか。
委員	(質疑なし)
(3) 湖南省自殺対策についての現状等について	
委員長	では議事(3)について事務局より説明をお願いします。
事務局	－ (3) 湖南省自殺対策についての現状等について説明 － 資料 4
委員長	事務局から説明についてご意見等何かございますでしょうか。
委員	P8 ころの疾患とあるが、これは、心疾患では？
事務局	漢字の「心」を平仮名表記で変換してしまったため、まぎらわしくなっています。訂正をお願いします。
委員長	湖南省は自殺の割合が多いのかどうなのか、P13 のグラフは母数が少ないので見えにくいと思うが、湖南省は高いようにはみえるが、ほとんど差がないとみていいのか？
事務局	自殺の総数は全国からすると多くはないが、年齢の特徴やハイリスクの方の職業など、内容・中身の部分が湖南省独自の課題があります。
委員長	湖南省としては数は国、県と比べると数は少ないが、30代50代と失業者、雇用保険の失業者が高い、自殺未遂経験者の自殺ありなしの部分が課題です。
事務局	県が自殺未遂者支援を行っており、市も一緒に支援しています。県は、未遂があった人が遂げられていないかどうかのデータを取っています。
委員長	自殺予防として、未遂者の支援が効果的。未遂者が少ないということではないと思うが、支援が改善、効果を見せてきた、と前向きに考えてもよいのでは。
委員	平成 21 年から、県の自殺が 221 人から 140 人に半数近く減っていて、平成 22 年から 28 年で、これを見ると 64% にダウンになっている。県の自殺者は全体でみると平成 28 年を比べると全体が 70% ぐらい減ったという事は、実際それが功を奏して減ったのか、自殺の総数が減っているのか、実際は 70% と 64% なんて、そんなにかわらないのではないかとも思う。誤差範囲内か、と思わなくもない。
委員	統計の有意差はどうか。「自殺未遂なし」の人が 63%、「あり」が 57% という数値なので、おそらく有位に下がっていると考えられる。同居している人の全体の何%なのか、という質問では、自営業は全国より少なく、被雇用は全国に比べて多い、という事を書かないといけない。P15 を参考にすると、湖南省は自営業が全国よりは少ないが、推測は成り立つ。分母をしっかり持っていくように。
委員	P14 の同居人の有無別自殺者数の推移は全国なのか、湖南省の状況なのか？
事務局	P14 は湖南省の状況です。

委員	P13の同居、独居について、近隣の人間がどのように対策としていくのか、同居、独居の状況に応じてどのように声をかけていったらよいのか、家族がいる人はどのようにしていったらいいのか？状況によって対応が違うかなと思うので、大事な部分だと思う。
委員長	時間がかかり押しているのですが、ここだけは、という部分の質問はありますか。
委員	策定スケジュールの中に聞き取り調査が入っているが、どうしていくのか？ P17 7割がストレスを感じていて、P16では健康問題が最も多かったが、健康の問題は体の健康状態なのか、精神疾患があるのか、どういったことが原因なのか？
事務局	スケジュールの聞き取りは庁内連携会議で資料5の所に載っている部分で、実際は聞き取りに行っているわけではないですが、棚卸事業について各関係機関から記入してもらった部分にあたります。内部で読み取りをした際に、いろんなデータがあるが、同居の女性の自殺が高い、男性は独居が多い、というデータでした。男性は独居になった時の支援や、60歳の退職後の支援が必要と考えます。また、女性は子育てや介護の負担といった部分の支援が大事と考えます。健康問題の中にはうつも入っています。うつ以外も入っているとは思いますが、うつが大半を占めます。 － 引き続き湖南市の課題について事務局より説明 －
委員長	第3章も話していますか？
事務局	次の議事になります。
委員長	第1章2章の部分を確認している、という事でよいのでしょうか？
事務局	そうです。
委員長	お聞きしたいところはありますか？ここまでの話の中では市は自殺の数は少なく、分母が少ないので、統計としての書き方は注意したほうがよいのでは。自殺は1人でもいれば、大きい。個人情報もかかわってくるので、自殺も注意しながらのせていかないといけない。

#### (4) 湖南市関係課の棚卸事業について

委員長	では議事(4)について事務局より説明をお願いします。
事務局	－ (4) 湖南市関係課の棚卸事業について説明 － 資料4
委員長	すぐに答えられない場合はご意見シートでお答えします、という事でもよい。各委員からどうしても、という部分をお1人ずつ発言いただきたい。
委員	「しんどい」気持ちを抱えている方とお話する中で今後はどうすればいいか、ステップがわかればよい。
委員	意見シートで書きたい。
委員	健康推進員の中では特にないが、シニアカフェなどもあるので、引きこもりのある人への声かけをしている。
委員	地域包括支援センターを設置しており、高齢者の総合相談窓口あり。介護者の相談にのる。心配だと思えるケースがあったらケアマネさんから相談もらって、地域ケア会議を実施し、職員も同行しています。
委員	会社を辞めないといけない、人間関係などの悩みが多く、お金に困っているの

	寄り添い、自殺に至らないようにしていきたい。
委員	特に自殺に対してはしていないが、意見シートに記入したい。
委員	甲賀市湖南市両方に計画を立てていく事になる。データのこと支援できれば。甲賀圏域におきましては、甲賀病院を中心に自殺未遂者支援のリスクの高い人への支援ということで、市と一緒に取り組んでいる。県の方では、自死遺族支援に対して、ご家族への支援も実施しているので計画に反映いただければ。
委員	今回の資料を見て、初めて自殺についての現状把握をしたという所。日頃から民生委員として、見守りを重点にしている。今後この資料の中から考えられることを民生委員としても自殺という観点も踏まえて見守りしていきたい。
委員	養護教諭の方で学校における自殺予防教育を受けてきた。学校で何をすべきかという所で、子どもたちも発信をどうしていったらいいのか、リストカットしている子もたくさんいるが、それをどのようにつかむのか、だれに相談したらいいのか、つなげる、という部分で、学校の方でも見守りしていきたい。「つなげる」というところを今後も考えていきたい。
委員	自殺というと、いじめという所が取出されているが、実際自殺の要因を考えたときに、いじめだけでなく、学力の問題、家庭の問題等々ある。学校で大事になってくるのはいじめの未然防止であるとか学力保障、家庭での連携を密にするなど実施しながら、未然に防止をしていきたい。気持ちのソフト面の対策は多いが、ハード面の対策もどのようにしていったらいいのか。例えば自殺の名所の場所では、見守りの人が常にいるなど、湖南市を見渡した時に、JR 草津線の部分での自殺もあったかと思うが、柵があったら違ったのかもしれない。予算もかかるが、具体的な手立てでハード面の取り組みが何かできればと思う。
委員	社会問題と真摯に向き合う機会がなかったので、よい機会である。日本の自殺の比率、ここ8年ぐらいの間に、減少はしているが、まだ予断は許さないという事はお聞きしたが、全国の自殺の総数や滋賀県も減ってきているが、大きな流れの部分についてあまり説明がなかったが、先進国の中で自殺者数は高い数値。減少傾向になってきているのは、大きな国の流れもあるよう。なぜここで増えて、なぜここで減ったのか、という事も説明があれば、もう少し分析できたのでは。そこを分析していく事でもう少し課題が解決できるのでは。
委員	就労の相談業務している。一人ひとり丁寧に行っている。
委員	自殺対策としては難しい。通報、相談、死にたいという声を聴くが、特に夜間、土日の場合どこに相談したらいいのか、と思う。
委員	子どもの相談の窓口や、子ども110番の相談に応じている。いじめに関しても、芽を見つけれられて手助けできたらいい。保・幼・小に出向いて人権教育をしている。自殺の対策になるかはわからないが、いじめをしないで、人権を守って、みんな仲良くしましょうねという話はしている。優しい気持ちをもつことで少しでも減っていければよい。
委員	自殺未遂の支援事業で、同意があれば、甲賀保健所につなぐ。得られなかったら名前をふせて、連絡。その方には、ここに連絡したらいいよ、と言える。甲賀市は

	チラシを作っている。救急に内科の医師が今年度配属になっている。必要ならば精神科への転院つなぎをしている。
委員	一人で抱えこまずに、助けてと言えるように。いろんな要因があるが、自殺に関しては、孤立感が非常に大きい。同居していても、気持ちの上で孤立感を抱えている。そういう意味ではその人にかかわる支援者が孤立しないようにしていく事が大事。いろんな意味で支えてもらいながら、みんなに助けを求めながら、支援者も孤立しないように。できる範囲でできることをしていきたい。
委員長	<p>気になった部分をピックアップして、まとめにしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康推進員：自殺対策してないといったが、自殺の前にある、健康問題、予防の部分の健康の部分で、生活習慣病になり、病気から自殺、うつ病から自殺、うつ病から生活習慣病を呼んだり、生活習慣病からうつ病を呼んだりとそういった因果関係が見えにくいですが、健康に関して関わりのある健康推進員は遠くの方で自殺とつながっているという事になります。</li> <li>・住民相談：失業についても支援の現状報告もありました。</li> <li>・保健所：未遂者支援は大事で、どうつないでいくのかフォローの体制づくりが重要。</li> <li>・警察：案件をどう地域で情報、個人情報があるので、どう行政・関係団体とつながっていくのか警察内部で考えていただきたい。</li> <li>・学校教育：学生生徒に対しての自殺予防も重要で、いじめだけではなく、未然に防止していく事とハード面の部分の政策提言の話があった。</li> <li>・企業：3万人になっていたのが2万人になって、なぜ減ったのかは、国、県、湖南市もよくわかっていない部分がある。減っているなら減っている理由がわかれば、それを重点にし、どうすればいいのかを計画書に反映できればよい。</li> <li>・就労支援：人権の問題で病気になり病院に、という方もいるので、病院との連携、警察との連携は必要。それぞれの関係団体との連携が必要。</li> <li>・医療：孤立感が集団にいてもあるというのは大きいし、孤立感を感じない対策を考えていく事が大事。</li> </ul> <p>これで議事を終了していきたい。          ここで言いにくかった部分があったら、ご意見シートに記入いただきたい。          これですべての議事を終了しましたので、事務局にお返しします。</p>

## 7. その他

事務局	<p>ご意見シートを9月7日（金）までに事務局あて、ファックスなどで報告いただきたい。</p> <p>計画にネーミング、自殺対策計画が固い部分もあるので、ぜひ皆様にご意見をいただきたい。ご意見シートに書いていただくなり、2回目の会議で検討していきたい。</p>
委員長	<p>自殺、自死、ドキッとす。こどもにもこれだけ自殺という言葉があると、自殺が身近になってしまう。もっとやさしい言い方、早世などという言葉はどうか。やさしいもう少し違った言葉がないのか、計画として表にでる言葉としてはやさしい言葉があればと思う。</p>

事務局

次回平成 30 年 11 月 15 日（木）14 時から場所は保健センター 1 階多目的室の予定。時間を超過しまして、大変申し訳ありませんでした。本日はありがとうございました。

■問い合わせ先

健康福祉部 健康政策課〔湖南省保健センター〕

電話 0748-72-4008

ファックス 0748-72-1481